

# 平成25年度 ながのまちづくり活動支援事業補助金交付団体一覧(21団体)

## 【企画・研究部門】(計4団体)

※受付順

受付No.	団体名 活動名	■地域や社会の問題・課題と活動目的 ■活動内容	補助金 要望額 (円)
2	特定非営利活動法人 長野スポーツコミュニ ティクラブ東北  キッズを対象とし た「アドベン チャーワールド」 を創るための試行 事業	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の人達の交流を図るため、スポーツを核とした活動を8月から試行したい。</li> <li>・脳の発達に関わりの深い8才以下の幼児、子ども達の関わりをスポーツ活動や遊びをとおして、「群れて遊べる」環境を創りたい。</li> <li>・おじいちゃん・おばあちゃんが孫たちと関わりながら、自分たちも元気になる生きがいや活力を高める。</li> </ul> <p>■活動内容</p> <p>◎実施項目：陸上、サッカー、バスケットボール的なスポーツを絡ませながら、おじいちゃん・おばあちゃん達が知っている伝承遊びやリズムダンス等。</p> <p>◎場所：柳原、古里、長沼の地域体育館を活用する。</p> <p>◎対象者：東北中学校区の8才以下の幼児、子ども達と元気なおじいちゃん・おばあちゃん達を対象とする。</p> <p>◎指導者：信州大学や長野県短期大学の学生にボランティアとしてお願いしていく。</p>	100,000
13	川中島甚句・音頭 保存会  川中島地域に伝わ る甚句や音頭の調 査研究、普及拡大	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>少子高齢化、家族構成の変化などで、地域伝承文化の継承者や後継者が少なく、川中島地域に伝わる甚句や音頭の存在も薄れていき、このままでは貴重な文化が歴史から消えてしまうのではないかと、との危機感がある。そこで、この地域の甚句や音頭を掘り起こし、調査研究をして資料編纂することで伝承文化を保存し、次世代へ引き継ぐ。そして、それらの甚句、音頭の普及拡大活動を通して、地域に新たなつながりを生み出すまちづくりを目的とする。</p> <p>■活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 川中島地域に伝わる甚句、音頭の調査研究を通して、地区の高齢者や知識人とつながりをつくり、まちづくりに参加してもらう。</li> <li>2. 「川中島音頭」に関する調査をし、冊子、DVD作成により、文字と映像で保存する。</li> <li>3. 「川中島音頭」講習会を開催し、地域に普及する。</li> </ol>	100,000
16	善光寺宿（ぜんこ うじじゅく）を もっと知ろう会  日本一の門前町 『善光寺宿』の資 料収集・現地調査 事業	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・善光寺宿は古地図（商店店舗・公共施設・史跡・遊郭など）があまり残っていません。研究資料・文献や日記など古文書の記載を頼りに現地ですべて確認する地道な活動が必要。</li> <li>・善光寺宿を知り愛着を持つ方が増えれば中心市街地の活性に貢献できると思う。</li> </ul> <p>尚当会員は永年長野の郷土史に関心を持ち活動してきた人が多く、経験と知識・人脈を生かして善光寺宿を探求する計画である。</p> <p>■活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①実施項目：善光寺宿に関する資料収集と現地確認</li> <li>・周辺宿場との比較研究（何が同じで何が違った特長か知る）・月例会による進捗取りまとめ</li> <li>②場所：主に善光寺宿の情報がある地域・施設。周辺宿場（屋代宿・丹波島宿・稲荷山宿・坂城宿など）の調査</li> </ol>	100,000
17	Mam's Style（ママ ズスタイル）実行 委員会  地域の仕事場づく り-小さな子ども を子育てする母親 の共同場-	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>特に未就園児を抱える母親は出産と子育てにより長期にわたって、仕事（労働）を通じた社会と離れた状態にある。「子育ても自分でしたいし出来る限り働きたい」という母親の願いを、仲間を集うことで協力し合って解決できるようにし、母親の自己実現が子育てにゆとりと地域社会に元気を呼び起こすことを目的とする。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動としてフリーペーパーの発行（年6回）、ブログや専用ホームページを制作・更新する。パソコンを使ったこれらの業務を仲間が順次経験する。</li> <li>・販売の参考となるハンドメイド店等を市内で視察、子育てとともに趣味を仕事へ生かしている講師等を招いて勉強会（11人年3回）を行う。</li> <li>・趣味を販売や収益へと生かす場として市内を中心としたイベントへ参加（年4回）する。</li> <li>・教授の経験を体験するため、ハンドメイド講座等を会員及び内外に開く。（年3回）</li> <li>・自主イベント（トークショー、ショップ）を企画・運営し（年1回500名1日）、仕事を生み出す過程や課題を検討する。</li> </ul>	100,000

# 平成25年度 ながのまちづくり活動支援事業補助金交付団体一覧(21団体)

ホップ : 7(スタート枠4含む)

【実践活動部門】 計17団体

ステップ: 6

ジャンプ: 4

※受付順

受付No.	団体名 活動名	■地域や社会の問題・課題と活動目的 ■活動内容	補助金 要望額 (円)
1	篠ノ井の応援団 篠ノ井ミッケ・プロジェクト	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的 郊外の大型量販店や全国チェーン店に押されて、衰退傾向が続く篠ノ井の駅前商店街を、昨年度からスタートした「しの駅バル」(街バル形式の食べ歩き&amp;飲み歩きイベント)や、オリエンテーリング形式の「宝探しゲーム」等を継続的に開催することで、意欲的な個店への集客を直接的・継続的に支援する。また、5年間開催し定着しつつある「エコキャップ子供広場」や「よこまちガレージマーケット」を継続して開催し、昨年度実写化を試みたご当地キャラクター「おしのさん」を使って幅広い広報活動をする事で、篠ノ井ならではの「オンリーワンの魅力」を再認識してもらい、停滞傾向の商店街への集客増加に貢献する。</p> <p>■活動内容 ①しの駅バル: 数軒の飲食店を飲み歩き、食べ歩いて楽しむ企画。参加したお客様は、篠ノ井の各飲食店に新たな魅力を見つけることが出来、飲食店側は、宣伝効果とリピーターを期待できる。 【手順】地元飲食店から15~20店を募集→専用メニューを選定→ガイドマップを作成→開催告知とチケット販売→参加者の評価検証→次回企画へ反映 ②懸賞付き宝探しゲーム: 商店街全体が舞台のオリエンテーリング、1回の開催期間20日程度の持続的な「まちなか活性化イベント」。 【手順】商店街から協賛店を募集→各協賛店にチェックポイント設置→宝探しマップを作成しチラシ等で開催告知→参加者がチェックポイント各店を宝探し感覚で回遊→全チェックポイントを回った参加者には抽選で賞品を進呈。 ③エコキャップ子供広場: 地元のお祭や軽トラ市の会場で、子供や家族連れを主な対象に、ポトルキャップやプルタブを参加料としたゲームを開催。参加者はエコリサイクル運動に協力し、なおかつ、景品を得ることができる。景品は地元商店の商品やサービス券等で、篠ノ井商店街の活性化に資する。 ④よこまちGM(ガレージマーケット): 地元のお祭り会場で開催するフリーマーケット、相乗効果で街を賑わす。WEBのフリマ専用サイトで出店募集、安価な出店料で、バラエティー豊かな品揃えの約30店が並ぶ。収入は、主にエコキャップ子供広場の運営費に充てる。 ⑤ご当地キャラクターとしての「おしのさん」の活用: 本年度着手したコスプレ衣装の装飾品を制作、お祭りや軽トラ市に完成度の高いコスプレで出演させる。協力的な店に全天候型の懸垂幕と回収箱を設置、キャップ回収拠点にする。</p>	394,000
6	長野レコードクラブ SPレコードコンサートを行うことにより、市民の融和と地区の安全を図る	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的 地区住民の中には自分勝手な行動をしている人が多い。子どもの通学路での安全は学校や警察の責任、年寄りの閉じ籠りや孤独死の問題は市の福祉関係者の責任だから自分には関係無いと横を向いている。これらの問題は地区住民全員の共通な課題として、全員で解決しなければならない。学校や警察、市にだけ責任を押し付けていたのでは絶対に解決しない。これは住民同士の横の連絡が十分取れていれば防ぐことができる。それには同じ趣味を持つ人が集まり好きなグループ活動をすれば、楽しみながら人の輪が広がってゆく。住民の融和を図ろうと肩肘張って活動するよりも長続きできる。これを旨として「長野レコードクラブ」を立ち上げ「SPレコードコンサート」を開催してきました。試行錯誤を繰り返して、準備期間も入れて7年間に31回行い、参加者も延べ1,320人になりました。評価も「良い」90%、「又来たい」75%を貰いました。まちづくり補助金の応援も頂きソフト面も充実してきましたが、今後は参加者数の増加を図ることが最重要課題です。参加者が増えれば会費が増えて会の運営がし易くなる。</p> <p>■活動内容 本部コンサート: 篠ノ井市民会館他・4回、出張コンサート: 各地の自治体他・4回、個人宅コンサート: 会員個人宅・5回、慰問コンサート: 老人ホーム、ディサービスセンター・2回</p>	190,000
7	「唱歌と童謡のまち」をめぐり実行委員会 第2回「唱歌と童謡のまち」をめざすシンポジウム(日本のこころを伝える唱歌・童謡と音楽記念館の果たす役割)	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的 唱歌・童謡が誕生した歴史と日本の音楽文化や地域への影響及び現状の評価、今後のあるべき方向性について研究。また、唱歌・童謡の誕生・発展に果たした長野県出身者の功績と顕彰について提言するために、次の活動を行う。 ①唱歌・童謡の生まれた背景と日本の音楽文化への影響について学ぶ。②長野県出身の作詞・作曲家の活動と実績について学ぶ。③学校教育における唱歌・童謡の変遷と現状について学ぶ。④音楽記念館の現状と課題、今後の展望、役割について考える。⑤文化芸術によるまちづくりの推進と文化芸術による新たな観光戦略の研究</p> <p>■活動内容 長野県内にある音楽関係の資料館の館長(高野辰之記念館、中山晋平記念館、おぼろ月夜の館、てるてる坊主の館など)及び伊澤修二先生を顕彰する音楽祭の実行委員会の方などに集まって頂き、会館や活動の現状、意識や効果、資料の保管や維持管理などの運営上の課題、今後の活性化の方策などについて論議して頂く。更に、長野市の新たな市民会館の竣工を機に、日本の近代音楽をリードし、唱歌と童謡の日本独自の音楽文化を築いてきたきた長野県出身者の活躍を振り返り、学校教育や社会教育を通じて音楽文化による地域づくりについて、その方向性を見いだしていきたい。</p>	228,000
8	特定非営利活動法人 CFM実行委員会 チャリティフィットネスまつり	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的 ○増える高齢者、子どもや若年層の低体力化、不健康者、精神疾患患者の増加、地域社会におけるコミュニティの不足が著しい昨今著しい。こうした状況を踏まえ、健康増進事業として、多くの人が多様な運動体験を行うことにより、参加者の心身の健康づくり・体力づくりや豊かな人間関係づくりをする。 ○参加費の一部を寄付することによって、健康になると同時に社会貢献に役立っていく。</p> <p>■活動内容 ○年2回チャリティフィットネスまつり(長野市内300人×2回動員予定、・エアロビクス・リトモス・ヒップホップ・ヨガ・太極拳・機能改善など) ○テーマ別運動講座(機能改善講習会(年2回、30名参加予定) スロースクワット講習会(年1回、30名参加予定) 呼吸法講習会(年2回、30名参加予定) 骨盤底筋引き締め運動(年1回、30名参加予定)) ○参加者からの収益金の一部は長野市内の福祉施設などへ寄贈品となる。収益金目標は39万。</p>	485,000

# 平成25年度 ながのまちづくり活動支援事業補助金交付団体一覧(21団体)

受付No.	団体名	■地域や社会の問題・課題と活動目的	補助金 要望額 (円)
	活動名	■活動内容	
9	チーム「おさるのかごや」	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>① 松代は数々の有名童謡の作詞家・作曲家がいる童謡発祥地ということもあり、これらの歴史財産を通じて様々な交流、発掘、そして広域にわたるPRに繋げて行くことが出来る。</p> <p>② いろいろな所で行われている各地の“ゆるキャライベント”に参加し、「童謡のたくさん生まれた“童謡の町松代”」をWEB媒体等も使い、全国的にPRし、知名度を上げる事。</p> <p>③ 長野の子供たちが長野の童謡なのだ胸を張って歌ってくれるようになる事。</p> <p>④ 地域の童謡を通じて、各種活動団体と、協力の幅を増やして行き、活動の視野を広げる事。</p>	304,000
	童謡お猿のかごやで町おこし	<p>■活動内容</p> <p>① 長野市周辺の学校の訪問【長野市周辺地区学校・施設】 (学校・施設の訪問、協力依頼の継続) 保育園・幼稚園・養護施設・小学校・児童センター・中学校・高校・各種活動グループ等へ、活動内容を明確に示し、賛同や協力が得られた時点で合同童謡イベントを引き続き継続する。</p> <p>② 松代町内に限らず、長野市内の児童館への協力依頼に応じて行く。 初年度に児童館への訪問依頼を請ける資格を取得しました。(アドバイザー登録) 六モンキーを通じて、長野市単位での子供とのふれあい、そして童謡の普及を積極的に継続して行き、地元松代のブランド力を違った角度から高めて行く。</p> <p>③ 初年度に制作したホームページに活動内容の随時更新。 (イベント等の活動内容はすべて発信する。) 基本的にホームページは随時更新にて発信する。活動に興味のある方や、今後の活動展開を楽しみにしてくれる方々、活動内容を全く知らない新規開拓の可能性のある方々への情報共有を欠かさない。</p>	
10	川中島平俳諧研究会	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>長野市南部地域の江戸時代以後の俳諧活動状況を調査し冊子としてまとめる。調査資料からデータベース化を行い、資料を蓄積する。調査にもつき句碑・俳額所在地のマップを作成する。また説明板を立てる。HPにより調査内容を検索することができるようにする。さらに地域の人々とともに視察見学を行い、認識を新たにする。より多くの住民の参加と普及をはかるため一層のPRと宣伝を強化する。</p>	141,000
	川中島平の江戸時代以後における俳諧(俳額と句碑の解説等)の資料調査と住民の参加	<p>■活動内容</p> <p>1 現在までの俳諧に関する句会の本および資料の収集を年表にまとめる。</p> <p>2 川中島平の未調査句碑約30、俳額約40の視察調査および発句者の住所・氏名・職業・墓所の調査(年5回100名参加)</p> <p>3 句碑、俳額の撮影をおこない記録にまとめ、データベース化をはかる。</p> <p>4 視察の句碑、俳額めぐりにおける参加者に参加目的などの聞き取り調査をおこない、今後の参考にする。(年5回60名)</p> <p>5 研究会を毎月おこない調査・研究の考察と進捗状況、および俳額の解説をおこなう。(年15回)</p> <p>6 視察の句碑、俳額めぐりの事前調査、案内板の説明等の交渉および研究会の資料作成の準備に向かう。</p> <p>7 各自治協(篠ノ井、松代、若穂、東北、川中島)および各公民館とも連携し視察の句碑、俳額めぐりの参加者をつのる。</p> <p>8 賛助会員との連携を密にし、視察の句碑、俳額めぐりに参加してもらう。</p> <p>9 調査研究の冊子を発刊し、地域の人々に購入。および書店等に販売。</p> <p>10 句碑、俳額の案内板を設置し、地域の人々の関心、およびHPに参入。</p> <p>11 公式ブログを作成し、視察の句碑、俳額めぐりへの参加および冊子の購入をおこなう。</p>	
11	Happy Spot Club (ハッピー スポット クラブ)	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>私達は福祉に関する諸問題は、“人と人の相互理解”不足が根源にあると捉えています。ハピ`スポ`ひろばは「明るく」「楽しく」「敷居が低い」をコンセプトに、障がい者と一般者の交流を深めるだけでなく、福祉やボランティア活動に興味はあっても一歩を踏み出せない潜在的な人々に直接アプローチし、運営にも携わっていただくことで、この分野にいざなう事も大きな目的です。このイベントで触発された人がハピ`スポ`となり、自分の周囲や地域で障がい者への理解を促進するきっかけとなり、最終的には長野市全体に波及することを目的としています。</p>	450,000
	ハピスポひろば	<p>■活動内容</p> <p>昨年と同様に「ハピ`スポ`ひろば」を開催する。</p> <p>・会場は昨年の長野市東部文化ホールと同程度の設備を有する公共施設とする。</p> <p>・第一部は、障がいやさまざまな事情を持った方々と地域のみなさんを対象とした催事とする。会場を飾り付け、各種遊具を配し、音楽や各種パフォーマンスのステージプログラムも組み合わせ、来場者が一日を楽しめるイベントとする。</p> <p>・第二部は、主に地域のみなさんを対象とし、福祉活動に先進的な取り組みをしている団体の方、あるいは有識者を講師として招き、講演会を行う。</p> <p>・ハピ`スポ`ひろばの終了後、スタッフ研修会を行う。福祉関係者を招き、お互いのネットワークを図る。</p>	
12	ねこの命をつなぐ会	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>長野市内では、飼主のいない猫の自然繁殖、事故死、自然淘汰の他に、飼主が避妊去勢手術をしなかったために猫が増え、飼主による保健所への持込みといったケースが多く、収容期限内に譲渡に至らなかった場合は、殺処分されている。</p> <p>目的は、次の3つとする。①飼主のいない猫を地域猫(地域で避妊虚勢をして面倒をみる)として管理し、その地域で数を増やさないこと。(概ね5年程度の寿命でしかない)②里親制度を周知することで市民や子どもたちに、活動を通じて命の尊さを伝え、保健、自然、青少年の健全育成に資すること。③①と②により、保護された猫や飼主からの引取猫の数を減らすことで、殺処分ゼロを目指すこと。</p>	463,000
	殺処分ゼロを目指すとともに猫との共生を考える	<p>■活動内容</p> <p>1. 長野市保健所譲渡会参加：長野市保健所(通常毎月第2土曜日)</p> <p>2. 「こちら肉球クラブ」主催の譲渡会参加：長野市福祉センター(偶数月第2日曜日・ただし8月は除く)</p> <p>3. 定例会議開催：シェルター(借りている民家・団体所在地に同じ)(偶数月)</p> <p>4. 猫の世話：シェルター(毎日朝・夕・夜中)</p> <p>5. HPとブログ作成・更新：情報更新及び会員募集(随時)</p> <p>6. 会報発行：会員及びボランティア等への配布(奇数月)</p> <p>7. 情報誌やラジオ等による周知広報活動及び会員募集(不定期)</p>	

# 平成25年度 ながのまちづくり活動支援事業補助金交付団体一覧(21団体)

受付No.	団体名	■地域や社会の問題・課題と活動目的	補助金 要望額 (円)
	活動名	■活動内容	
14	ちょうまの会	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>近年我々が口にするものは、自分たちや地域がつくった郷土のものでなく、ヒトが作ったものや遠くのものをお金をはらって買うことが当たり前になってきています。農業を生活の中心にしていた頃郷土にあった食の知恵や健康維持の秘訣、食べものはいのちそのものという実感、自然や神への感謝の気持ちなどはだんだんうすれ、腹を満たす、享楽を得るだけのモノになってきています。そしてその反動が、原因不明の病の横行、体力の低下、こころの不安定などの状況を招いている大きな原因であるといわれています。郷土の高度成長期以前の食や農の習慣を聞き取り調査しているうち、こういった状況を打開できるヒントが身近に沢山あることがわかりました。調査で学んだたくさんの財産を今度は我々が地域に伝承し、解決の一助にしたいという使命感が生まれ、まずはこれらの知恵や習慣を網羅した郷土の「食ごよみ」をつくらうという思いが鮮明になっています。都市と地域の格差や核家族化がますます進んでいる状況下で、いまや家族間ではなかなか難しい郷土のすぐれた食文化や歴史の伝承を「食ごよみ」を中心に地域全体ですすめ、健全で明るい未来づくりに役立てたいというのが活動の目的です。</p> <p>■活動内容</p> <p>①善光寺平の食ごよみ[添付サンプル参照]の編集と制作 1 体裁はA4版オールカラー16~24ページ 中綴じ。見開き2ページごとに1か月分の内容を掲載。月ごとの行事と行事食を写真やイラスト、コピーなどで解説する。全12か月。永久保存版ではあるが、いつでもどこでも手軽に使いたいの装丁を工夫する。                  2 対象は、子育て世代の親子。(お婆ちゃんの体験を子孫へ) ・善光寺平の四季や種まき・収穫のようす、行事や段取りについて、楽しくわかりやすく紹介する。                  3 食ごよみを参考に、親子で楽しみながら容易に「かたり」「つくる」ことができるように構成を工夫する。 ・お婆ちゃんやおじいちゃんの知恵や教訓がいと将来に生かされるような「ヒント」「エピソード」を豊富に盛り込む。 ・できればカレンダーの要素を取り込んだりメモ欄を設けるなど、実用的なものに仕上げる。                  ②伝承活動を行うリーダーの育成 1 かたり部研修 2 行事食・伝統食の料理研修                  ③研修終了後の実践活動                  1 伝統食・行事食の発表と試食会の開催 (H26年1月「ぜんこうじ平の食の集い(仮)」 2 各地域での伝承活動「親子料理教室」(豊野・徳間地区25名程度)</p>	648,000
	善光寺平の「食のこよみ」を軸とした、食と農の教育		
15	長野市ぶれジョブを考える会	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>「地域に出て自分の力を試してみたい。」という子どもの願いを保護者、学校、地域の企業(お店)、地域住民、ジョブサポーターが手をつないで受け止め成長を見守る活動を通して、地域の中に支援の輪を広げ、みんなが顔見知りになり暖かな気持ちで生活できる地域社会をつくる。</p> <p>■活動内容</p> <p>川中島地区でぶれジョブを実施(小学生2名、中学生2名を予定)                  他地区でも希望を募り、実施に向けて説明会を開催する。</p>	100,000
	ぶれジョブで笑顔いっぱい地域づくり		
18	信州パネルシアター研究会 らっぽっぽ	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>・OA機器が発達してきた今日、すべてのものがデジタル化され、OA対人が日常となり、人対人の関係がうまく運ばない人間が多くなりつつある。                  ・TVを見るように受け身ではなく、生のステージで、一緒に歌ったり、クイズや手あそび等、みんなで楽しいひとときを過ごすことが人対人の関わりを持つ上でも大切だと考えている。                  ・研究会員が結集することで、より多くの人たちに私たちの取り組みを知ってもらい、パネルシアターを見るばかりでなく、演じる楽しさも伝え、広げていく。                  ・AMの親子向けの公演会では、楽しいひとときを共有し、親子の絆を深めるきっかけを作る。                  ・PMの特別講師による上演、制作、講習会では、パネルシアター愛好者や新たに知り合おうとする人の技術向上を高めることを目的とする。</p> <p>■活動内容</p> <p>AM 月下和恵先生の親子で楽しむパネルシアター上演会                  親子・一般 (吉田公民館)                  PM 月下和恵先生のパネルシアター製作・講習会                  幼・保・小学校図書館関係・パネルシアターに興味がある人 (吉田公民館)</p>	108,000
	パネルシアター公演・講習会(月下和恵先生)		
19	長沼歴史研究会	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>町作り支援金により、地域の中に320年解明されないまま眠っていた城が、各箇所看板が立ち、史跡マップが配付される等して、見えるようになって来た。しかし、城があり、北国裏街道が通り、長沼宿が栄え、一茶は660日も滞在したこの地には、賑やかであったと思われる江戸時代の歴史遺産が沢山ある。今までは見えない物(城)の解明を進めてきたが、今年は今残っているこれらの遺産(石造物等)に視点をおき歴史解明を進めていきたい。「歴史薫るまち長沼」としてさらに体感できる町作りを目指していく。</p> <p>■活動内容</p> <p>①毎月1回長沼地域の歴史について、会員相互で研究・協議する。                  ②石造物の資料集を作る。年号・所在地・型・高さ・銘分・特徴・備考など又写真や所在地の地図、それぞれの石造の意味について記載する。                  ③石造物の企画展示会を開催する。写真とその説明文等を展示し、解説する。                  ④赤沼区有文書の調査をする。出てきた史料を検証し、まとめる。                  ⑤中世の城を見学する。                  ⑥長沼城の歴史を題材とした冊子をつくり、子供達に読み聞かせをする。</p>	140,000
	「今 蘇る長沼城」～歴史が感じられる町作りを目指す～		

# 平成25年度 ながのまちづくり活動支援事業補助金交付団体一覧(21団体)

受付No.	団体名	■地域や社会の問題・課題と活動目的	補助金 要望額 (円)
	活動名	■活動内容	
21	特定非営利活動法人 みどりの市民	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>1. 西山地域では竹林(淡竹)が放置され、里山の荒廃化の原因の一つとなっています。しかし、竹は様々な分野で活用でき、非常に有効な資源です。一方、長野市では生ごみの減量の対策として自家処理による堆肥化を進めています。今、その堆肥化の基材を地元で調達し消費することが課題となっています。</p> <p>2. 4年度は、この2つの課題を克服するために、この竹の活用を幅を広げ、西山地域の荒廃竹林の整備から生じる竹チップを活用して生ごみの堆肥化を行いました。本年度は、竹の活用を更に進めるために、竹チップの生ごみの堆肥化の実践と研究を行い、低コストで品質の良い竹基材(竹を原料とした生ごみ堆肥の基材・竹チップ、竹パウダー)の開発を行います。又、その製品の販路を確立し、竹製品の需要の拡大を目指します。(竹パウダー:竹チップを更に粉砕して粉状にしたもの)今回のプロジェクトは、これらの活動により、生ごみの減量と堆肥化のさらなる推進を図り、竹林の整備が進み、地域の資源循環と地域の活性化を目的とします。</p> <p>■活動内容</p> <p>1. 竹基材利用による「西山淡竹会」との連携</p> <p>2. 竹基材活用による生ごみ堆肥化の先進地視察(金沢予定)</p> <p>3. 竹基材による生ごみ堆肥化の研究(竹チップの薫炭作り等)</p> <p>4. 竹基材による堆肥化実施モニターの募集及び堆肥化実践</p> <p>・一般モニター(20名)、詳細モニター(2名)の募集及び説明会</p> <p>生ごみ減量アドバイザー、昨年度モニター実践者、高齢者施設</p> <p>・一般モニター:堆肥化状況と堆肥利用の花や野菜の栽培状況の報告</p> <p>・詳細モニター:堆肥化の成分及び生ごみ堆肥を含んだ土壌分析のための情報提供(生ごみの種類と投入量及び温度変化)</p> <p>5. 生ごみ堆肥の利用による野菜・花の栽培(モニターによる)・竹基材の堆肥の使い方の説明会</p> <p>6. 西山淡竹会との連携により竹基材利用者のための販路の確立(直売所:西山地区の道の駅、JA等の店舗内)</p> <p>7. 出来た堆肥の成分分析</p>	133,000
	22	特定非営利活動法人 ながのこどもの城いきいきプロジェクト	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>核家族化、地域社会の希薄化等が進んでいる現在、子育て環境においては母親が子育ての悩みを一人で抱え、虐待など悲しい事件も数多く起きている。父親や高齢者等においても、共に暮らすまちな人々との触れ合いの場を持ちにくくなっている。これらは、平成24年度の「スマイル増やそうプロジェクト」事業を通じて、課題が明確になり支援の必要性を実感した。</p> <p>一方、中心市街地である権堂町においては、沈滞化が課題となり、活性化に向けて様々な取り組みがされているが、まだ目に見える効果は生じていない。そこで、マンションやアパートに住む、乳児を中心に子どもとその保護者に焦点を当て、子育て支援・子育て支援を行うことにより、地域の人々の関わりを通しての子育てのモデルを作るとともに、権堂の活性化に努める。</p> <p>■活動内容</p> <p>1. おしゃべりスペース「絆」(週2回)</p> <p>乳幼児から高齢者まで世代を超えて、誰もが気軽に集える場所をつくり、子育ての先輩から子育ての知恵を分けてもらうなど、地域で子育てのモデルを作る。(シニア世代とお茶のみサロン等)</p> <p>2. スマイル広場(月2回)</p> <p>子育て・子育てに関する講座を権堂の商店や企業等の方を講師に迎え開催し、地域ボランティアがかかわることの出来るシステムの構築など、「共に育つ、子育て・子育ての場」づくりを推進する。(例:子どもの靴(ファストシューズ)の選び方・靴店と連携、伝統文化と子育て・おいしい初め、地産品等子育てにまつわる行事等について、商店や先輩の方々と連携絵本の楽しみ方・書店、絵本セラピスト等と連携ハンドマッサージでリラクセス・化粧品店と連携季節食材を生かした食事(料理講習会)・料理店と連携、ベビーマッサージ、初めての夏(冬)の乗り切り方、わらべうたとお話等)</p> <p>3. 権堂まちづくり参加</p> <p>まちづくり長野、商店街、企業と連携し、季節行事等を一緒に行う。</p>
23	長野結婚相談所 準備室	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>近年、長野市で騒がれている人口減少・少子高齢化という課題を解決するために、結婚適齢期の男女の結婚率ひいては出生率の増加を目的とする。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方を講師として募集する</li> <li>・講師に地域の世話焼き人の趣旨説明会</li> <li>・趣旨に賛同いただいた方との今後の活動検討ワークショップ</li> <li>・地域の方を講師として開催する婚活イベントに向けてのモデルイベント開催・効果検証</li> <li>・地域の方を講師として開催する婚活イベントを11月～3月まで月一回の開催</li> <li>・結婚適齢期の子を持つ親同士の婚活イベント11月～3月まで月一回の開催</li> </ul>	500,000
	24	吉田Sports Education Club (スポーツエデュケーションクラブ)	
25	art Reno (アートリノ)	<p>■地域や社会の問題・課題と活動目的</p> <p>現在、新築の不動産物件ですら需要は確実ではなく、また古い物件をリフォームしたからと言って、必ずしも空き室がなくなる保障はなく、耐震対策や修繕やリフォームに今から投資して良いか悩んでいるビル・マンションのオーナーは少なくない。空き室を放置していれば、建物も傷み、町が寂れ、人が集まらないという悪循環に歯止めがかからなくなる。築30年超の中古集合住宅の「リノベーション」の途中経過をいろいろな手法で公開し、再生のモデルケースとして示しながら、新たなまちづくりへの提案や、同様な悩みを抱える物件オーナーへの情報発信を図る。「リノベーション」の面白さ、楽しさ、有効さを長野にも広めたい。</p> <p>■活動内容</p> <p>前年開催した築34年の中古集合住宅リノベーション案コンペの入賞作品を、いろいろな手段(発表会、冊子の作成と配布、HP、SNSの活用等)で広告し、また並行して対象物件オーナーと調整しながら、実際に採用して形にし、その途中経過や採用後のビルの様子を公開する。賃貸物件の「リノベーション」の考え方などについて、学べる場を設け、不動産賃貸関係者(建築設計・不動産仲介業・不動産管理者等)の啓発活動を行う。</p>	600,000